

萬國史略

田中義廉編輯

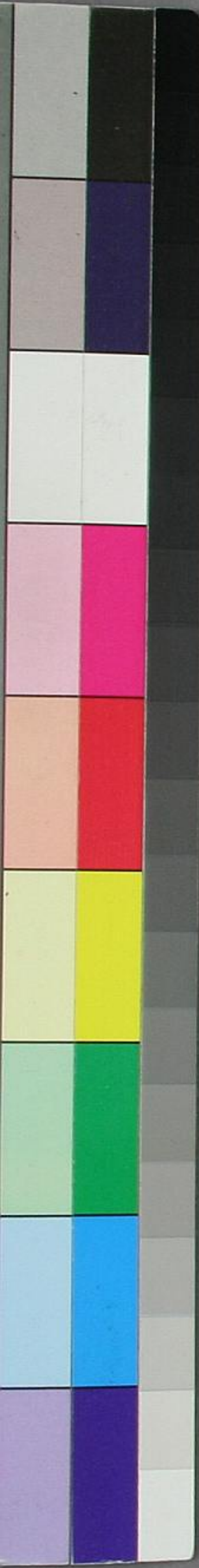
四

柳田文庫

文庫11

A1604

4



文庫11
A1604
4.

萬國史略卷之四

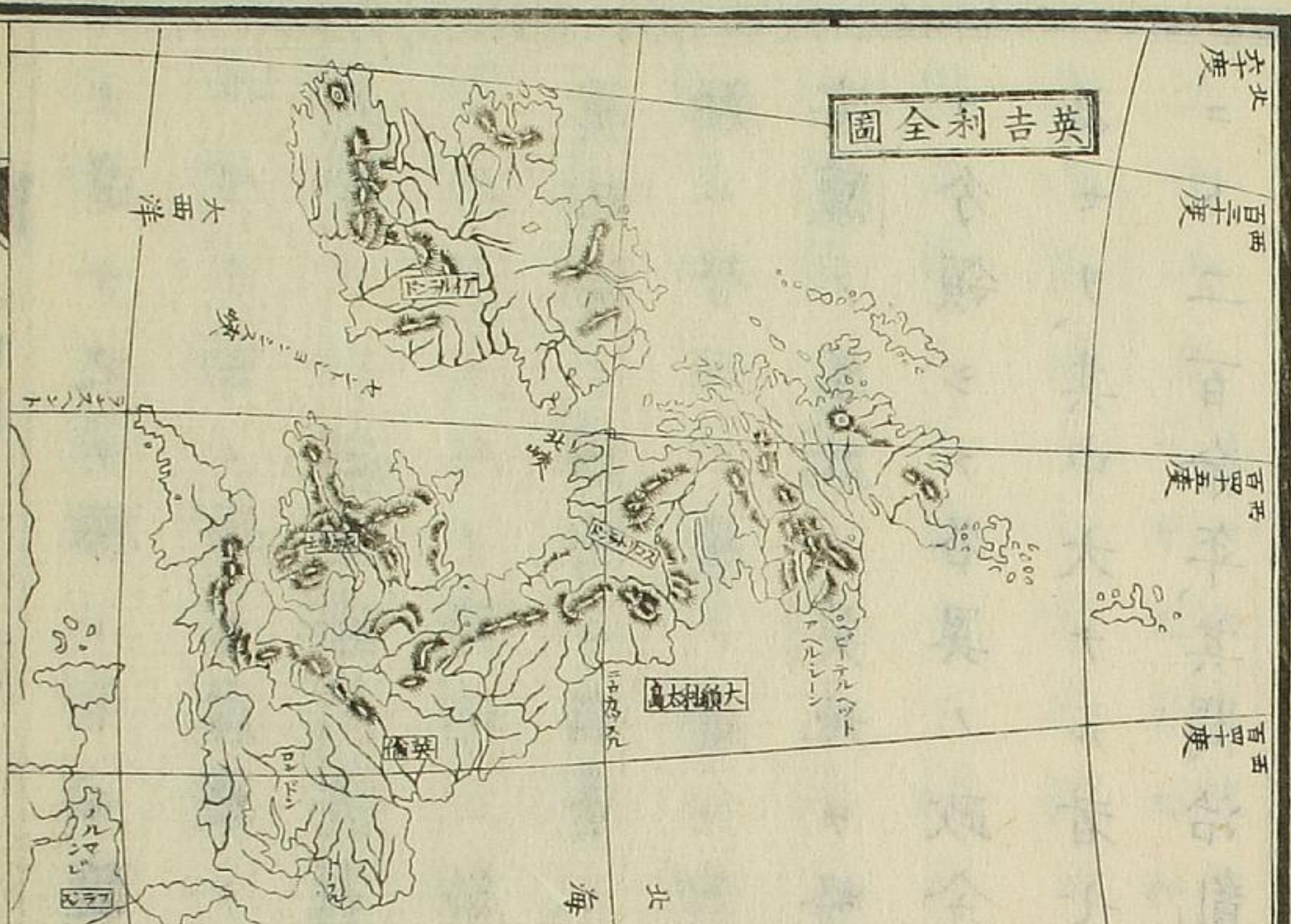
大軍英吉國史
田中義廉 編輯

上古ハ瑟爾的ト名ツクル野民、亞細亞洲ヨリ徙
リテ、部落ヲ為シ、後峩特ノ属ナル丟度尼ノ據ル
所トナレリ、丢種漸ク蕃衍シテ、數多ノ部落ヲ為
スニ至リ、一人ヲ推シテ主トナシ、僅ニ邦國ノ形
ヲ致セリ、蓋シ此際ノ事歴渺漠トシテ詳悉スル
コト能ハス、紀元前五十年ノ頃、羅馬ノ大將愷撒

田中義廉

天啓

海ヲ渡テ英國ニ入り、土人ヲ征討シ、漸ク英倫ヲ
 平定シテ別部トナス、然レトモ羅馬ノ屬國トナ
 ラサル故ニ英ノ賦稅、未タ曾テ羅馬ニ入ルコト
 ナシ
 紀元四十二年羅馬帝革老丟斯、師ヲ興シテ英ヲ
 伐ツ、英人力戰シテ肯テ降ラス、尋テ羅馬帝親ヲ
 大軍ヲ將キ來テ、終ニ英ノ南部ヲ平定シ、守將ヲ
 置テ留守トス、然レトモ西北部ノ地方ナル蘓格
 蘭威爾里ハ城壘ヲ築キ、疆土ヲ區域シ、各自獨立
 政府ヲ為セリ



紀元七十八年羅馬將亞及
 哥拉英ニ入り、能ク其民
 ヲ撫育ス、英人悦服シ、是
 ヲリ言語、文字、宮室、衣服
 悉ク羅馬ノ制ニ化ス、後
 數百年ヲ經テ羅馬ノ衰
 フル頃、比利噉人蘓格人
 兵ヲ起シテ羅馬ニ叛キ、戍
 兵ヲ破テ域内ヲ蹂躪シ、
 直ニ倫敦ニ抵ル、羅馬帝兵

ヲ遣テ之ヲ驅レトモ、隨テ去レハ隨テ来リ、此彼
干戈ヲ動ス、率ネ虚歳ナシ、此時ニ當テ日耳曼ノ
民種ナル安各羅人、薩克索人、海ヲ渡テ英ノ東部
ニ入り、土人ヲ僻壤ニ驅リ、遂ニ其地ニ據ル、此二
屬相混シ、國內ニ彌蔓ス、故ニ今ノ英人其言語種
類ハ皆此二屬ノ遺ス所ナリト云フ
安薩ノ屬既ニ英地ヲ略定スルニ至リ、互ニ邦土
ヲ分領シテ、各異ノ政令ヲ施シ、自ラ封建ノ勢ヲ
為セリ、其中大ナル者七國アリ、互ニ國ヲ傳フル
コト二百余年、其間治亂沿革一ナラス、紀元八百

二十七年

淳和天皇天長四年
唐文宗大和元年

七侯ノ一ナル、厄塞

侯以格伯ナル者、各部ヲ合併シテ、一大國トナス、
安各羅人ノ多キヲ以テ國ヲ英倫ト號ス、
以格伯ノ人ト為リ、頗ル智略アリ、國ヲ御スルニ
和ヲ以テス、地ヲ争ヒ城ヲ争フノ事ナシ、其末年
ニ至リ、噠國人来リ侵スコト三次、幸ニ撃テ之ヲ
斥クルコトヲ得タリ、然レトモ後王ノ世ニ至リ、
屢来テ止マス、諸部其蠶食スル所トナレリ
以格伯王ヨリ後、五世ノ王ヲ亞弗勒ト云フ、節儉
力行シテ、黎庶ヲ裨益ス、賞罰ヲ嚴ニシ、憲章ヲ重

クスルノ意アリ、時ニ羅馬教、國內ニ延滿シ、教中
多ク羅馬ノ方言ヲ用ウ、王心ニ之ヲ厭ヒ、乃チ書
ヲ著ハシ、本國ノ言語ヲ用キ、民ニ教ヘテ、漸ク羅
馬教師ノ習ヲ除ク、國人久シクシテ益々之ヲ信
ス

亞弗勒王歿シ長子義德瓦一世嗣ク、文武ノ才略
アリ、夙ニ國難ヲ除キ、噠國人ヲ降スヲ得テ壤地
日ニ大ニ、權勢月ニ盛ナリ、遂ニ蕪威ノ王亦來テ
款服シ、霸業頗ル成リ、勲績大ニ著ハル
義德瓦一世ノ後、噠國人ノ勢益猖獗ニシテ各部

多ク其壓服スル所トナリ、噠人ノ英ニ在ルモノ
互ニ婚娶シ、生齒日ニ繁シ、名ツケテ英噠人ト云
フ、義德瓦一世ヨリ八世ノ後王ヲ以徳門ト云フ、
日ニ噠人ト戰フト雖トモ、幼冲孤力ニシテ勝ヲ
制スルコト能ハス、終ニ一千十六年噠人ノ酋長
加紐的ノ為ニ殺サレ、薩克索ノ朝、茲ニ至テ亡
加紐的既ニ英倫ヲ統轄シ、兼テ噠馬諾威瑞典ヲ
併セ、政令嚴壯ニシテ、恩威並行ル、令シテ曰ク國
中異邦ノ習俗ニ染ムル勿レ、異邦人英ニ在ル者
國法ニ循ハサル者ハ之ヲ逐フ、其器械財貨ハ擄

萬國史略卷四

去スルコトヲ許スト、位ニ在ルコト十八年國內頗ル安康ヲ致セリ

加紐的歿シテ二子位ヲ争ヒ、將ニ戰事有ラントス、國人為ニ調停シ、因テ長子哈羅德ヲ立テ、英王トナシニ子哈底加紐的ヲ噍國王ト為ス
哈羅德卒スルニ及ヒ、哈底加紐的入テ王タリ、淫逆放肆ニシテ、其民ヲ虐使シ、重斂煩苛ナリ、竟ニ下ノ為ニ弑サル、是ニ於テ國人前朝以德門ノ弟義德瓦三世ヲ他邦ヨリ迎ヘテ王トス、是ニ至テ加紐的ノ系統絶エ、復薩克尼ノ朝トナル

ヲ諾曼ノ主トナシ、次子維廉二世ヲ英國ノ主トス

維廉二世、多慾無道ニシテ、賄賂公行シ、國人日ニ亂ヲ思フ、位ニ在ルコト十四年、其下ノ為ニ弑サレ、弟頭理一世立ツ、精ヲ勵マシ、治ヲ圖リ、民ヲ安スルヲ以テ先トス、又其兄羅伯ヲ誘殺シテ、諾曼ヲ一統ス、紀元一千百三十五年、頭理一世歿シ、寵臣士提反篡立シテ王トナリ、國大ニ亂ル、此時前王頭理一世ノ孫、佛國ニ在リ、自國ノ動亂ヲ聞キ、急ニ海ヲ渡テ、英國ニ入ル、國人之ニ服従スルモ

ノ多ク、竟ニ士提反ヲ廢シ、奉シテ王トス、之ヲ顯
理二世ト云フ、聰察明敏ニシテ能ク政令ノ得失
ヲ考ヘ、害ヲ除キ弊ヲ去ル、兼テ慶ヲ行ヒ、惠ヲ施
シ、百姓ヲ安撫ス、時ニ仁政大ニ行レ、國富ミ兵強
ク、諾曼比利噉及ヒ佛ノ西北ヲ併セテ、殆ト佛國
三分ノ一ヲ領ス、尋テ蘓格ヲ蠶食シ、又威爾士ヲ
強服ス、後一千百六十九年阿爾蘭ヲ征服ス、夫ノ
阿爾蘭ハ英國ニ附属スル一島ニシテ古來英ト
通セス、別ニ一政府アリ、域内數多ノ侯伯、之ヲ分
領シ獨立國ト稱ス、是ニ至テ英ノ屬國トナル、然

義德瓦三世ハ加紐的ノ為ニ乃兄ノ殺サル、ニ
方リ、遁テ諾曼ニ倚ル、是ニ至テ立ツコトヲ得タ
リ、然レトモ全土ヲ統轄スルコト能ハス、噠人比
利噉人等諸州ニ割據ス、加之大臣權ヲ擅ニシテ
王威行レス、王歿シテ權臣位ヲ嗣ク、之ヲ哈羅德
二世ト云フ、此時ニ方テ諾曼侯維廉雄ニシテ衆
アリ、且前王ノ親戚タルヲ以テ固ヨリ英國ニ王
タランコトヲ希圖セリ、一千六十六年終ニ大兵
ヲ率キテ英國ニ入り哈羅德ト戰テ之ヲ殺ス、是
ニ於テ英薩克索噠國ノ系統遂ニ絶ユ

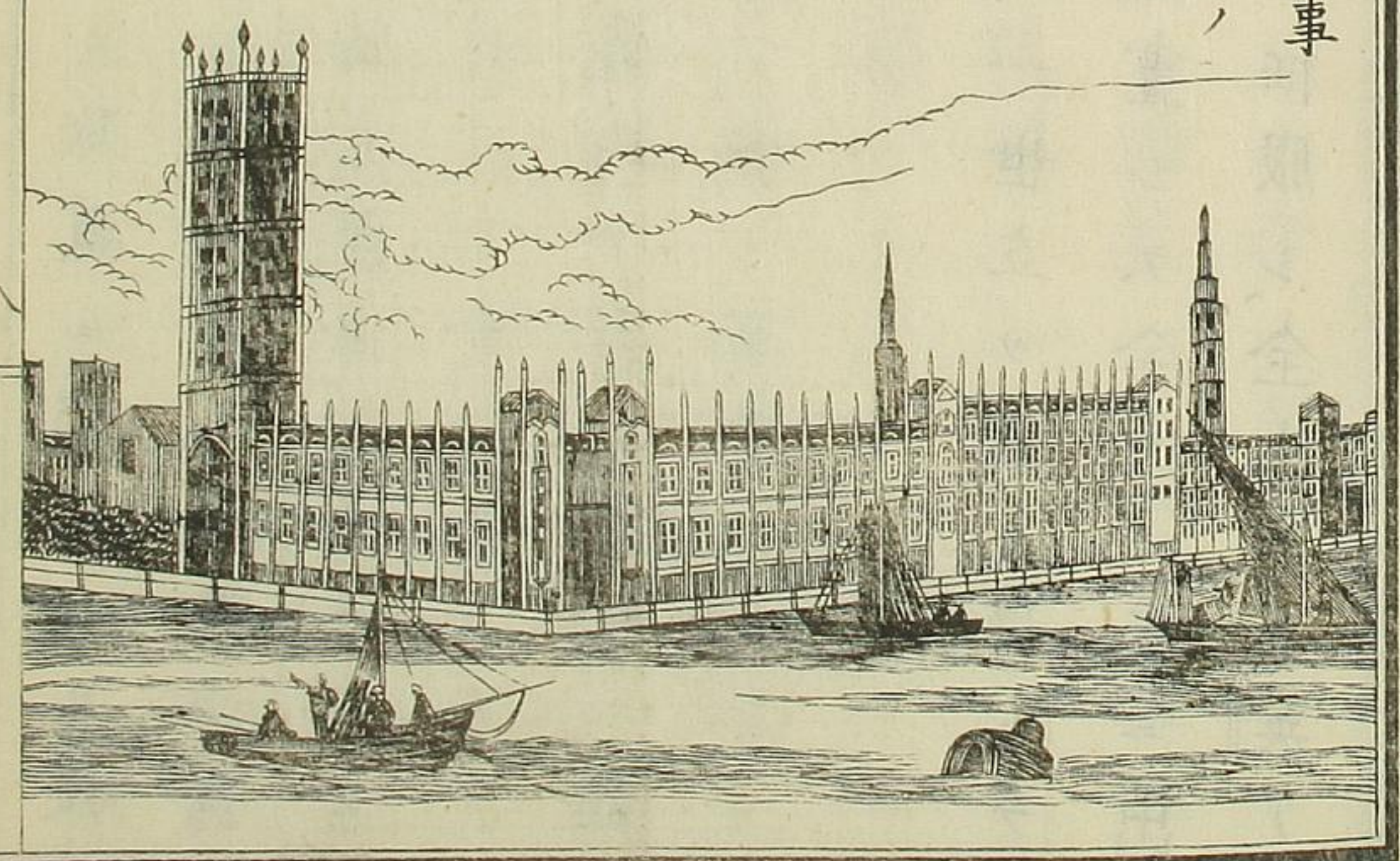
哈羅德既ニ卒シ國人亞梯令ヲ立テ、王トス、未
タ幾ナラスシテ、維廉ニ降り迎ヘテ王タラシム、
之ヲ維廉一世ト云フ、是ヨリ諾曼ノ朝ト稱ス
維廉一世既ニ入テ主ト為リ、前王ノ成憲ヲ用キ
テ改ムル所ナシ、民ノ原産アルモノハ其自主ヲ
得ルヲ許ス、民人信シテ之ヲ悦ブ、數年ヲ踰エ稍
諾人ヲ偏愛シ、英民ヲ侮視スルヨリ、國人次弟ニ
嗟怨シ、殊ニ北鄙ハ日ニ干戈ヲ尋キ、終ニ肯テ服
セサルニ至ル
王位ニ在ルコト二十一年ニシテ卒ス、長子羅伯

レトモ王ノ末年ニ於テ國家滋事父子兄弟相争
フニ至レリ不佞ハ大敗ナリシニ因テ英ノ其
顯理二世没シテ長子カ查一世立ツ、勇武ニシテ
遠征ヲ事トシ、屢猶太ニ入リ、回兵ヲ伐テ之ヲ逐
攘シ、又諾曼ニ往キ、佛王非立ト戰フコト數次、竟
ニ軍中ニ歿ス
カ查一世歿シテ弟約幹立ツ、妄行度無ク、且狼貪
虎視シテ飽カス、佛王ト釁ヲ啓キ、終ニ佛國ナル
領地ハ、大率佛王ノ恢復スル所トナレリ、加之國
民ヲ虐使シ、貪殘重斂、令ニ役ハサルモノハ、肆ニ

屠戮スルヨリ民人大ニ怨懣シ終ニ國王ニ叛キ
 兵ヲ挾テ倫敦ニ入ル國王力屈シテ乃チ其請フ
 所ヲ允シ、一千二百十五年國民ト盟テ約法ヲ立
 ツ、之ヲ馬格那查達ト云フ、蓋シ其制ハ民ニ自主
 ヲ得セシムルヲ首トシテ上ハ其民ヲ虐スルコ
 ト能ハス、而シテ君ノ權自ラ在リ、下ノ裨益窮リ
 無ク、財產ハ自ラ保ツヲ得ルモノトス、此法後世
 ニ傳リ暴君ニ遇ヲト雖トモ民頼テ安シ、今ニ至
 ルマテ、垂テ不刊ノ大典トナリ、之ニ因テ英民其
 自由ヲ得テ終ニ議事院ヲ成スノ基礎トナレリ

約幹卒シテ長子頭理三
 世立ツ、情懦ニシテ文弱
 ナリ、政ヲ推臣ニ委ヌ、此
 時ニ當リ、王權漸ク下ニ
 移リテ、國民王ノ專制ヲ
 悦ハス、堅ク約幹ノ定メ
 タル律例ヲ持シ、毎ニ王
 命ニ抗抵シ、終ニ一千二
 百二十五年、國人始テ議
 會シ、國政ヲ參議ス、然ル

議事院ノ圖



萬國史畧卷四

ニ國王及ヒ權臣等ハ國民ノ政道ニ関スルヲ便
トセス、稍民權ヲ抑制セント欲スルヨリ、物論洵
々トシテ上下ノ勢、水火ノ如シ、遂ニ兵馬ヲ起ス
ニ至リ、一千二百六十四年、國王ト戰ヒ、大ニ王ノ
軍ヲ破リ、國王ヲ擒シ、迫テ盟約ヲ立ツ、是ヨリ國
民ノ代議士ヲ撰ミ、諸世爵ト共ニ政事ノ可否ヲ
議ス、後世之ヲ下院ト云フ

頭理三世歿シテ、義德瓦的一世立ツ、武ヲ好ミテ
英雄ノ概アリ、蘇格蘭ヲ規畫シテ、令ヲ一王ニ出
サント欲シ、先ツ威爾士ヲ征服シ、全土悉ク英ノ

指揮ヲ奉セシム、此時蘇國王年老、嗣子皆死ス
ルヲ以テ、疏族位ノ争ヒ頗ル擾亂ヲ為ス、英王機
ニ乘シテ蘇國ニ臨ミ、蘇ノ疏族ノ一人ヲ接ケテ
位ニ即カシメ、因テ英ノ屬國トナラシム、幾モナ
ク蘇王ヲ倫敦ニ遷シ、將士ヲ遣テ蘇國ノ城地ヲ
守ラシム、是ヨリ英王ハ蘇國ノ大半ヲ略定スル
コトヲ得タリ
義德瓦的一世歿シテ、世子義德瓦的二世嗣ク、天
性極テ庸劣ナリ、加之王后以薩伯拉ハ佛王ノ女
ナリ、亦淫逆ニシテ無道多シ、是ヲ以テ内ハ其家

ヲ齊ルコト能ハス、外ハ其民ニ信セラレス、惟嬉
 戲淫昏ヲ務トナシ、大権ヲ以テ近習ニ授ク、○一
 千三百十四年蘓國反ス、英ノ將校蘓國ニ留守タ
 ルモノ風ヲ望テ悉ク降ル、是ニ於テ英王自ラ兵
 ヲ將キテ蘓國ヲ伐チ却テ大敗シ、終ニ和ヲ講ス
 ルニ至リ蘓王ヲシテ自ラ其國ニ主タラシム、是
 ニ於テ民心益離レ、王后亦王ノ失多キヲ見、去テ
 佛ニ大歸セントス途ニシテ其臣逸的麥ト通シ
 私ニ英王ヲ廢シ、其國ヲ篡ハシコトヲ謀リ、世子
 及ヒ其衆ヲ牽キテ英倫ニ抵ル、國王窘窮シテ、西

境ニ奔逃セリ、是ニ於テ王ヲ廢シテ庶人トナシ
 世子ヲ立テ、王トス之ヲ義德瓦的三世ト云フ
 義德瓦的三世位ニ即クト雖トモ年猶幼ナルヲ
 以テ中外ノ大権悉ク母后ニ歸ス、○王長スルニ
 及テ、英武能ク戰フ、蘓國ヲ伐テ、全捷ヲ得、遂ニ舉
 國ヲシテ、内附セシム、○一千三百二十八年佛國
 王歿シテ嗣子ナシ、英王ハ原佛王ノ外孫タルヲ
 以テ佛國ノ王位ヲ兼統センコトヲ希圖ス、佛人
 之ヲ聽カスシテ、前王ノ孫、瓦羅義斯非立ヲ立ツ
 是ニ於テ二國遂ニ戰端ヲ啓キ、一千三百三十八

年、英王自ラ大軍ヲ牽キ、佛軍ト海上ニ戰テ、大ニ之ヲ破ル、逃クルヲ追テ、佛國ノ内地ニ入ル、此時英國ノ王子ヲ義德瓦ト云フ、年甫テ十五、亦從テ軍ニ在リ、勇悍群ヲ抜ク、其甲杖衣械皆黒色ナルヲ以テ世人目シテ黒王子ト稱ス、○一千三百四十六年、英王父子進テ、巴黎城ヲ圍ム、佛王勁兵ヲ以テ出テ、之ヲ禦ク、大戰終日、英軍大ニ佛軍及ヒ隣邦ノ援兵ヲ破リ、佛王僅ニ身ヲ以テ逃レ、一城ヲ保ス、英王長壘ヲ築キテ、之ヲ圍ム、ユト歳餘、城中食盡キ力屈シテ終ニ降ル、是ニ於テ英佛二

國相和シテ兵ヲ罷ム、六年ヲ歷テ佛王非立歿シ、約幹王ノ代ニ至テ再ヒ兵端ヲ啓キ、英ノ黒王子、師ヲ帥テ佛國ニ入ル、兵銳、刃利、向フ所前ナシ、大ニ佛軍ヲ破リ、佛王及ヒ太子大臣ヲ擒ニシ、佛國ヲシテ海岸ノ地ヲ割カシメ、以テ和ヲ講スルニ至ル、是ヨリ黒王子ノ威名、遠近ニ振轟セリ、既ニシテ黒王子病テ卒シ、國王亦老荒シテ勢威頗ル衰フ、是ニ於テ佛王釁ニ乘シ、兵ヲ起シテ、連ニ故土ヲ復シ、其英國ニ属スルモノハ加雷波爾多ノ一二邑ノミ

義德瓦的三世歿シ、國人黑王子ノ季子ヲ立ツ、之ヲカ查二世ト云フ、年猶幼ニシテ王叔、政ヲ主ル、佛人之ヲ視テ、兵ヲ起シ、來リ攻ムルノ勢アリ、英ノ軍政整ハス、防守策ナシ、蘇國又叛テ佛ニ應ス、是ニ由テ佛國ニ在ル英ノ領地悉ク背クニ至レリ、英内外滋事、賦需甚タ繁シ、民之ニ堪フルコト能ハス、時ニ一千三百八十年、英ノ東方ノ民、先ツ叛キテ兵ヲ舉ク、是ニ於テ各處響應シ、大衆相率テ進テ倫敦ヲ攻ム、既ニシテ官兵又大ニ集ル、叛者鳥散シ、多ク誅殺セラレ、國亂稍平カナルコト

ヲ得タリ、○王年長スルニ及ヒ專擅ヲ好ミ、行フ所、詐力多シ、時ニ義德瓦的三世ノ蘇ニ、顯理ナル者アリ、本、王ノ仇ナリ、佯テ朝ニ仕フ、叛狀終ニ顯レ、佛國ニ流サル、會、王教長ヲ殺スノ事ニ由テ、國人亂ヲ思フ、王悟ラス出テ、阿爾蘭ニ居ル、顯理是ニ於テ國變ノ將ニ起ラントスルヲ慮リ、英ニ歸ル、諸部ノ酋長之ヲ迎フル者多ク、倫敦城ニ入ルニ方リ、一人ノ之ヲ禦クモノナシ、留守タルモノ亦顯理ニ歸ス、王變ヲ聞テ急ニ歸ル、途ニシテ顯理ノ軍ニ逢フ、從者四散シ、終ニ獲ラレテ、倫敦

ニ送ラルル一千三百九十年、國人王ヲ廢シテ顯理
四世ヲ立ツ、既ニシテ蘇格蘭來テ北鄙ヲ侵シ、威
爾士又叛テ兵ヲ舉ク、王親ラ之ヲ征討スレトモ
久シク平クルコト能ハス、後漸ク和ヲ講ス、○四
世歿シテ長子顯理五世立ツ、初稍仁聲アリ、後狼
貪ニシテ戰ヲ好ミ、佛國ノ争亂ニ乘シ、兵ヲ舉ケ
テ佛ニ入ル、一千四百十五年、大ニ佛軍ヲ破リ、軍
資器械ヲ掠メテ歸ル、後二年復兵ヲ出シテ佛國
ヲ伐チ、諾部悉ク英ノ所轄ニ歸ス、進テ巴黎ヲ攻
ム、佛軍勢窮リ、和ヲ英ニ乞フ、佛王ノ女ヲ納レテ

王妃トナス是ニ於テ兩國始テ兵ヲ罷ム、然レト
モ塞納河南ノ地ハ肯テ服セス、兵ヲ舉ケテ佛ノ
王子ヲ助ケ繼テ之ヲ立テ、王トス、之ヲ查爾斯
七世ト云フ、

既ニシテ英王其弟格拉林斯ヲ以テ巴黎ノ留守
トナシ自ラ佛王并ニ其女ヲ携ヘテ倫敦ニ歸ル、
一千四百二十二年顯理五世歿シ、嗣子猶幼ナリ、
庶兄位ヲ争フテ國政頓ニ亂ル、是ニ於テ佛王查
爾斯七世兵ヲ起シテ、巴黎ヲ襲ヒ、英國ノ留守タ
ル格拉林斯ヲ殺ス、英國之ヲ聞キ、顯理ノ弟約幹

ヲ以テ將トナシ、大兵ヲ率キテ、佛國ニ入り、格
方ニ戰フ、佛軍大敗シテ勢遂ニ振ハス、羅來阿以
北ノ地悉ク英ニ降り佛王走テ、疇爾良府ニ入ル
英軍尾撃シテ短兵急ニ攻メ、堡城將ニ陥ラント
ス、此時佛國ノ女子如安達克ト云フモノアリ、民
間ニ起リ、義兵ヲ舉ケテ、英軍ヲ衝キ轉戰三月、英
軍遂ニ敗レテ悉ク軍ヲ班ス、是ニ於テ加雷ノ外、
皆佛國ニ在ル領地ヲ失ヘリ、
王長シテ闇愚政ヲ失シ、母后權ヲ擅ニシテ、國內
分裂ス、此時義德瓦三世ノ裔ニ、約克侯力查ナル

者アリ、軍國ノ大政ヲ掌リ、功德甚タ茂シ、國人王
ヲ廢シテ之ヲ立テント欲スルモノアリ、是ヨリ
王黨ト力查黨トノ二派ニ分レ、相鬪視シテ干戈
ヲ動カスコト三十餘年、互ニ勝敗アリ、一千四百
六十年力查敗死ス、長子義德瓦ナルモノ勇敢父
ニ過キ、軍士多ク心ヲ歸ス、父ノ歿スルニ及ビ、其
衆ヲ領シテ倫敦ニ入ル、國王及ヒ王后出テ、蘇
格蘭ニ走ル是ニ於テ國人義德瓦ヲ迎ヘテ王ト
ス、之ヲ義德瓦四世ト云フ
義德瓦四世位ニ即クト雖トモ、猶先王ノ黨、各地

ニ屯集シ、十數年間戰鬪止マズ、一千四百七十一年終ニ先王顯理ヲ捕ヘテ獄ニ殺ス。○義德瓦四世歿シ、嗣子五世立ツ、猶幼ナリ、前朝ノ變故相續キ國內ノ黨與數派ニ分レ互ニ権ヲ争フテ、動亂止ムトキナシ、カ查三世終ニ王及ヒ王弟ヲ弑シテ位ニ即ク、権臣亦服セス、陰ニ不軌ヲ圖ルモノアリ、カ查三世悉ク之ヲ殺シ、屠戮算ナシ、強テ之ヲ威壓ス、然レトモ國人益、服従セス、顯理七世ナルモノ兵ヲ舉ケテカ查三世ヲ殺シ王位ニ昇リ、國內ヲ統一ス、骨肉ノ血戰三十年、此ニ至テ止ム、

其間王侯ノ家ヲ破リ、身ヲ亡スル者數フ可ラス、貨財狼籍シ、商賈行カス、百姓ノ傷害スルモノ甚ク衆シ、此朝ニ至テ漸ク安寧ニ歸ス、此レ國家氣運ノ一大沿革トス、
此時ニ方リ、歐洲ノ諸國形勢日ニ壯ニシテ、人民ノ知識月ニ開ケ、航海ノ術益盛ニシテ喜望峰ヲ廻リ、印度ニ至ルノ海路ヲ發見セリ、英國又船ヲ海外ニ出タシ、東印度ノ地ヲ拓キ、尋テ亞米利加ノ大州ヲ得タリ、
顯理八世ニ至リ、縱肆濫逆ニシテ私欲ヲ逞フス

ルヨリ夙ニ亂兆ヲ萌セリ、然レトモ其行ヲ所却
テ後世ノ益ヲ為スモノ少カラス、假令ハ屢后妃
ヲ廢立スル為ニ羅馬法王ノ權ヲ削キ、新教ノ禁
ヲ緩ウシ、教法ヲ一變シ、又數部ノ民ノ議會ニ預
ルヲ得サルモノヲ、已ヲ助ケシメンカ為ニ悉ク
議員ト為スヲ許セル等ノ如シ
一千五百四十七年、顯理八世歿シ、**維**子義德瓦六
世立ツ、七年ニシテ歿ス、此時首相瓦威ト云フ者
アリ、勢ヲ恃ミ權ヲ擅ニシ、終ニ已ノ子婦、然格来
ヲ立テ、女主ト為サントス、然格来ハ前王ノ甥

女ニシテ賢淑ナリト雖トモ、國民殊ニ服セズ、物
論洵々トシテ争亂ノ兆アリ、義德瓦六世ノ女兄、
馬利機ニ乘シテ王位ニ昇ラシメトテ謀リ倫敦
ヲ去テ諸州ニ遊説シ、檄ヲ四方ニ傳フ、將士ノ歸
スル者甚タ多ク、軍容頓ニ盛ナリ、瓦威倉遽往テ
之ヲ禦ク、敵ニ遇フニ及テ即チ敗死ス、馬利終ニ
軍ヲ率キテ倫敦ニ入ル、其妹以利沙伯公卿大臣
ト迎ヘテ王トス、之ヲ英國女王ノ初トス、女王殘
忍ニシテ殺戮ヲ嗜ミ、且深ク舊教ヲ信スルヲ以
テ、嚴ニ新教ヲ禁シ、其徒ヲ誅殺スルコト數百千

人ナリ、然レトモ民ノ新教ニ歸スル者益衆クシ
テ國內靜寧ナラス一千五百五十八年佛國ト戰
端ヲ啓キ英軍毎ニ敗衄シテ佛國ニ在ル加雷ノ
地ヲ失ヒ女王慚忿シテ歿ス
馬利歿シテ其妹以利沙伯嗣ク仁賢ニシテ胆氣
アリ庶民ヲ愛慈シ政体ヲ務メ又新教ヲ興シ舊
教ヲ去ル國人是ヲ以テ悅服シ上下安康殆ント
刑措ニ至ル時ニ燕國ノ女王ヲ馬利去阿爾ト云
テモノ舊教ヲ固守シ陰ニ亂ヲ英國ニ作サント
ス事覺シ執ヘテ之ヲ殺ス世人唯之ヲ兇手ノ弊

ト云フ
此際ニ當テ國家益殷富シ兵權特ニ盛ニシテ戰
艦軍器咸ク備リ且兵ヲ海外ニ出タシ益亞米利
加ノ地ヲ得テ大ニ版圖ヲ增加セリ
一千五百八十八年和蘭國釁ヲ西班牙ニ啓クニ
及ヒ女王兵ヲ出タシテ和蘭ヲ援ク是ニ於テ西
王全國ノ力ヲ盡クシ百五十艘ノ戰艦ヲ發シ来
リ攻ム英ノ戰艦邀テ海上ニ戰ヒ大ニ之ヲ破ル
西國ノ大艦悉ク隊伍ヲ亂シ遁レテ故道ヨリ歸
ラントス英軍ノ遮攔ニ遇ヒ廻テ北海ニ出ツ會

颶風アリ船艦多ク覆没ス、英軍機ニ乘シテ、尾撃
 シ、悉ク西國ノ艦隊ヲ鏖殺ス、是ニ於テ英國ノ威
 名海内ニ振轟セリ
 一千六百三年、以利沙伯殂ス、此女主位ニ在ルコ
 ト年、久シク能ク外侮ヲ禦キ、内亂ヲ平ケ、竟ニ富
 強ノ根基ヲ固クシ、英國海上ノ權利ヲシテ獨リ
 瀛環ニ擅ニセシムルコトヲ得ルニ至レリ
 女王殂シテ嗣子ナシ、國人蘇國ノ王惹迷斯ヲ迎
 ヘテ王トス、之ヲ惹迷斯一世ト云フ、是ニ於テ英
 蘇合シテ一國トナリ、大遼利顛ト號ス、此王、貪鄙

粗暴ニシテ夙ニ人民ノ望ヲ失ヒ、且固ク舊教ヲ
 信スルニ由リ、陰ニ其徒ヲ助ケシコトヲ許ス、然
 ルニ人民ノ不服ヲ慮リ、事中ヨリ止ム、是ニ於テ
 舊教ノ徒甚タ之ヲ怨ミ、王及ヒ下院ノ人ヲ焚殺
 シテ志ヲ得ント欲シ、謀既ニ成ル期ニ垂ントシ、
 事忽チ覺シ、兇徒盡ク誅ニ伏シテ、幸ニ無事ナル
 ヲ得タリ、然レトモ兩教相仇視シ、國內安寧ナラ
 ス、末年又議事院ト不和ヲ生シ、争亂ノ因ヲ萌セ
 リ、然レトモ航海ノ業、日ニ盛ニ海外ノ地ヲ獲ル
 コト月ニ多ク、且國內ノ貿易、最繁滋シテ、四民ノ

殷富ヲ致ス者益衆シ
查理斯一世ニ至リ、嚴壯ニシテ威儀アリ、然レト
モ王位ヲ以テ神授トナシ、身法律ノ下ニ屈スル
ヲ欲セス、益、王権ヲ固クセンコトヲ務メ、議事院
ヲ壅閉シ、新法ヲ立テ肆ニ賞罰ヲ行フヨリ、夙ニ
禍亂ノ根柢ヲ結ヘリ。○王益、租税ヲ重クシ、下民
ヲ束縛ス、國民怨望スルコト累年、終ニ一千六百
三十九年、薩國ノ民、兵ヲ舉ケテ王ニ叛ス、王親ラ
師ヲ率キテ英、薩ノ境ニ臨ム、薩人既ニ王ノ軍壘
ヲ奪テ、之ニ據ル、兵容甚々盛ナリ、王ノ將士、戰ヲ

欲セス、軍氣頓ニ沮ス、王已ムヲ得ス、薩人ノ請フ
所ヲ聽シ、和議ヲ約シテ歸レリ、是ヨリ王威地ニ
落テ、國民益、服セス、終ニ一千六百四十二年ニ至
リ、全國瓦解シ、叛者四起ス、王親ラ師ヲ率キテ、東
攻西伐、互ニ勝敗アリ、年ヲ踰エテ止マス、同四十
五年ニ至リ、大ニ阿塞福ニ會戦ス、此時叛人ノ一
將ヲ格朗空ト云フ、文武ノ才アリ、其兵亦精煉、善
ク戰フ、大ニ王ノ軍ヲ破リ、殺傷過當ナリ、王奔テ
薩國ニ逃シ、將士多ク離散ス、一千六百四十八年
○後光明天皇正保四年、
明永明王永曆元年、
叛黨終ニ國王ヲ執ヘ、罪狀

薩國史略卷四

ヲ具シテ刑場ニ弒セリ、實ニ古今悖逆ノ事顧ニ
 此ヨリ甚シキモノアラズト云フ
 叛黨既ニ國王ヲ弒シ、國ヲ合衆政治トナシ、格朗
 宍ヲ推シテ頭領トナス、此時阿爾蘭人前王ノ長
 子ヲ奉シテ嗣王トス、格朗宍兵ヲ遣テ之ヲ伐ツ、
 阿人敗績シ、嗣王逃テ佛國ニ行ケリ、此際ニ當リ
 全國物論群起シ、國体甚タ危シト雖トモ格朗宍
 能ク將士ヲ督シ内訌ヲ平ケ、兼テ外侮ヲ禦キ、威
 名ヲ近隣ニ震ヘリ
 一千八百九十一年格朗宍死ス、長子カ查格朗宍

繼テ政ヲ為ス、文弱ニシテ幹略ナシ、軍士服セス
 輒チ之ヲ押侮スルヲ以テ、未タ期ナラス職ヲ棄
 テ、去ル、是ニ於テ軍將藍伯ナルモノ繼テ政ヲ
 統フ、綱紀更ニ亂レ、士民疑危王ヲ思フモノ多シ、
 終ニ一千六百六十年國民議シテ嗣王ヲ佛國ニ
 迎テ王トス、之ヲ查理斯二世ト云フ、是ニ至テ合
 衆政府タルコト十二年ニシテ又王國トナレリ
 查理斯二世剛復自ラ肆ニシ、下民ト和セズ、妄ニ
 政教ヲ改革シ、議員ヲ黜陟スルヲ以テ國內殊ニ
 寧謐ナラス、其歿スルニ及ヒ、弟惹迷斯二世嗣テ

立ち更ニ賦歛ヲ重クシ、百姓ヲ苛虐ス、兼テ舊教
ヲ興シ、~~濫~~ニ新教ノ徒ヲ屠殺スルヨリ、國民皆王
ヲ怨ミ、夙ニ内亂ノ兆ヲ萌セリ、此時和蘭國阿蘭
日ノ部長維廉ナル者、王ノ女婿タリ、英才ニシテ
名望アリ、國中ノ諸勲貴、陰ニ相議定シ、書ヲ以テ
維廉ヲ招ク、是ニ於テ一千六百八十八年、維廉舟
師ヲ率キテ、英國ニ入ル、將士來歸スルモノ甚ク
衆ク、百姓之ニ從フコト市ノ如シ、王窘究シテ計
ノ出ス可キナク、竟ニ逃レテ佛國ニ去レリ、是ニ
於テ國人維廉ヲ立テ、王トス、之ヲ維廉三世ト

稱ス

維廉三世、既ニ英王トナリ、兼テ和蘭ニ主タリ、能
ク英政ヲ極ケ、又自國ヲ救ヒテ佛國ノ侵掠ヲ防
遏スルヲ以テ、當時ノ威名歐洲ニ冠タリ、○前王
佛國ニ去ルノ後、三月復佛王ノ援ヲ得テ、軍勢ヲ
率キ、阿爾蘭ニ歸ル、州民ノ之ニ歸スル者頗ル衆
ク、軍容頓ニ盛ナリ、維廉王之ヲ聞キ、親ラ精騎ヲ
率キテ之ヲ伐チ、轉戰數回ノ後、阿爾蘭ノ兵大ニ
敗レ、前王再ヒ佛國ニ走ル、是ニ於テ維廉兵ヲ四
境ニ出タシ、悉ク叛者ヲ誅シ、國內全ク服役スル

ヲ得タリ

一千六百九十一年、維廉和蘭ニ歸リ、英蘭日西ノ諸國ト會盟シ、佛國ヲ伐ツ、蓋シ當時ノ佛王ハ貪殘無道ニシテ、肆ニ近隣ヲ掠奪スルヲ以テナリ、此時維廉王ハ三軍ノ謀主トナリ、佛國ニ向ヒ、兵連禍結七歳余、終ニ佛王ヲシテ和ヲ請ハシム、是ニ於テ英國及ヒ和蘭ノ國勢、次第ニ強盛ヲ極メ上下殷富シ、國內特ニ靜寧ナリ

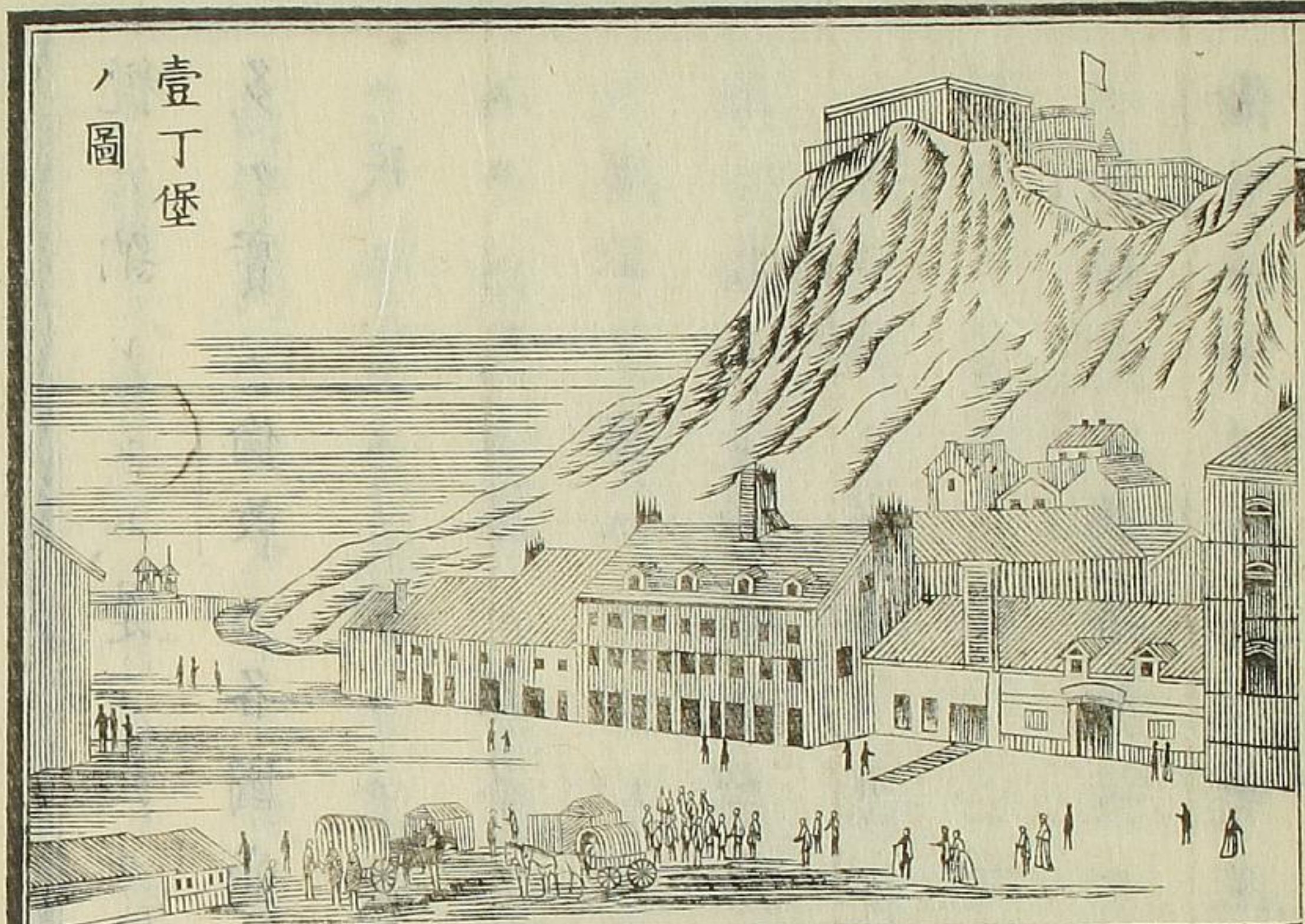
維廉三世歿シテ、后妹安ヲ立テ、王トス、凡庸ニシテ羣下ノ制スル所ト為ル、然レトモ海外ノ領

地益廣ク軍威殊ニ盛ニシテ、兵ヲ和蘭ニ出タシ

埃國ヲ助クテ佛軍ヲ破リシコトアリ、○安王歿シテ嗣子ナシ、國人惹迷斯一世ノ孫ナル哈諾威王ヲ迎テ王トス、之ヲ惹爾日一世ト稱ス、○此時ニ方リ惹迷斯二世ノ季子佛國ニ在ル者、英王タランコトヲ希圖シ、兵ヲ起シテ蘓國ニ入ル、北方ノ民多ク之ニ屬シ、叛者ノ集ル者急ニ萬人ニ超ユ王兵ヲ遣テ之ヲ伐テ、大ニ叛人ヲ破リ、餘衆終ニ散ス、○一千七百十八年、釁ヲ西班牙ニ啓クニ及ヒ、争鬪陸續、率ネ寧歲ナシ、此際英ノ水師地中

海ニ到リ、西國ヲ伐チ大ニ西ノ戰艦ヲ没滅シ、西
 軍ハ轉シテ蕪國ニ到リ屢戰闘シテ互ニ勝敗アリ
 一千七百二十七年、王歿シ長子惹爾日二世嗣ク
 剛強ニシテ凌厲ナリ、民之ヲ悦ハス、王后加羅林
 才略アリ、能ク其夫ヲ制シ、國家ノ大政、咸之ヲ聽
 断ス、后ノ寵臣ニ瓦爾波ナル者アリ、商税ノ法ヲ
 立ツ、實ニ良法トス、蓋シ英國嚮日ノ法ハ他國ノ
 商貨関ニ入ルモノハ、便チ税ヲ出ス可シトス、今之
 ヲ廢シ、要地ニ倉庫ヲ營シ、貨ヲ出スニ至リ始テ

税ヲ納レシム、是ニ於テ商貨ノ集ルコト次第ニ
 多ク實ニ倫敦ハ各國商賈ノ市ノ如シ、後人其誠
 ニ民ヲ富スノ術ナルヲ知ル○后及ヒ瓦爾波歿
 スルニ及ヒ妄ニ無名ノ師ヲ起シテ、近隣ヲ侵撃
 シ、重歛ヲ課スルヲ以テ、民心漸ク離散ス、此時故
 王ノ裔ニ查理斯義德瓦ト云フ者アリ、私ニ興復
 ヲ謀リ、陰ニ黨與ヲ集メ蕪國ニ至ル蕪ノ人民服
 従スル者多ク、終ニ一千七百四十三年、兵ヲ擧ケ
 テ蕪都壹丁堡ヲ陷レテ之ニ據リ、尋テ兵ヲ分テ、
 倫敦ヲ攻メントス、英王親ラ大軍ヲ率キテ之ト



壹丁堡ノ圖

戰七兵連三年終ニ義德
瓦ノ兵ヲ破リ殺傷過當
ナリ義德瓦又遁レテ以
太利ニ去ル是ヨリ七年
間全國事無シ
此時ニ方リ國勢全盛ニ
シテ列邦ノ畏ル所ト
為リ殊ニ賢相彪的能ク
内外ノ政ヲ治メ四民其
所ヲ得テ上下富安ヲ極

ムルニ至レリ
一千七百五十四年佛人北亞米利加ノ領地ヲ侵
スヲ以テ佛國ト戰端ヲ啓キ佛軍ト亞國ニ戰フ
コト數年終ニ佛軍ヲ破リ全地悉ク英國ニ歸セ
リ
一千七百六十年王歿シテ長孫惹爾日三世立ツ
天性狼戾ニシ放肆ナリ彪的ノ英名アルヲ忌ミ
之ヲ斥ケ自主ノ政令ヲ為シ殊ニ亞米利加人ヲ
束縛虐使スルヲ以テ夙ニ難ヲ為スノ端ヲ開ケ
リ一千七百六十四年亞米利加寄籍ノ人ヲシテ

萬國史略卷四

各賦ヲ英國ニ納レシム、甚ク重苛ナリ、亞國ノ舉部、具ニ哀訴ス、英國聽カス、之ヲ強フルニ兵ヲ以テス、亞人快々兵ヲ舉クルノ念ヲ決シ、一千七百七十六年、華盛頓ヲ推シテ大將トナシ、顯ニ英國ニ叛ケリ、英國大兵ヲ遣シ之ヲ攻伐スレトモ、亞人殊ニ死戰シテ屈セス、連戰七年、佛蘭等又亞國ヲ援ケルヲ以テ、我軍竟ニ利ヲ失シ、一千七百八十二年、亞人ト和ヲ講シ、其獨立ヲ許可セリ、是ニ於テ大ニ海外ノ版圖ヲ失ヘリ、然レトモ前相彪的ノ子維廉彪的ナル者二十五歳ニシテ相

トナリ英才絶倫、能ク内外ノ政ヲ治メ、國体ヲ堅ウス、兼テ東印度ノ律ヲ定メ、印度地方ノ事務ヲ總轄シテ、能ク政体ヲ為サシム、是ヨリ貢賦ヲ納ル、コト漸ク陪蓰シテ、國家次第ニ富强ナリ、此際ニ方リ、始テ蒸氣器械ヲ製シ、營業ニ便ニス、佛帝拿破侖ノ四方ヲ雄視スルニ當リ、夙ニ佛國ト戰端ヲ開キ、西印度ナル佛ノ屬島ヲ掠奪シ、又和蘭ノ佛ト合スルニ及ヒ、和蘭ノ屬地ナル喜望峯ヲ奪ヘリ、一千八百五年、佛ノ水師、西班牙ト合シテ來リ攻

△英ノ水軍ノ將、納爾森邀へ伐テ、大ニ海上ニ戰
ヒ終ニ佛軍ヲ破リ、戰艦ヲ鑿没シテ、殆ント盡ク
此役ニ納爾森ハ飛丸ニ中テ死ス、○既ニシテ拿
破侖ハ其兄約瑟ヲ以テ西國王ト為スニ及ヒ西
人服セス、接テ英國ニ乞フニ至リ、一千八百八年
英國ハ空林登ヲ大將トナシ先ツ葡國ニ入り佛
ノ留將ヲ驅テ國外ニ逐ヒ、尋テ西國ニ入り、西人
トカヲ合セテ、佛軍ヲ伐テ、毎ニ軍捷ヲ得タリ○
拿破侖ノ魯西亞ニ敗ル、ニ及ヒ、空林登兵ヲ進
メテ、大ニ西王約瑟ヲ破ル、佛人悉ク敗歸スルニ

至リ、英軍長驅シテ佛ノ南境ニ入ル、此時拿破侖
魯字嶼ノ師ト戰ヒ大敗シテ歸リ諸國ノ軍巴黎
ニ至ルニ於テ、空林登ノ師、亦之ト會シ、兵船ヲ以
テ拿破侖ヲエルバ、島ニ放テリ
拿破侖ノ再ヒ兵ヲ舉クルニ及ヒ、英將空林登ハ
嶼都維也納ヨリ直ニ比利時ニ到リ、軍壘行陣ノ
事宜ヲ經理シ、軍ヲ窩德路ニ駐メテ、以テ佛軍ヲ
待ツ、拿破侖親ラ歩騎ヲ督シテ英軍ニ當リ大戦
四時殺傷相當ル、此時會、字軍ノ來テ佛軍ノ後ヲ
襲フアリ、英軍之トカヲ併セテ、大ニ佛軍ヲ破ル

萬國史略卷四

三

拿破命亦奔テ巴黎ニ回リ、後終ニ英國ニ投セン
コトヲ乞フ、英戰艦ヲ以テ之ヲ迎へ、送テ三尼里
那島ニ放竄セリ

此ヨリ中外稍無事ニ属シ、此際又碩學卓見ノ士
輩出シ、智巧ヲ煉磨シ、新器ヲ創造スルコト、最多
ク、治教大ニ進ミ、文化偏ニ普シ

一千八百二十年、王歿シテ長子、位ヲ嗣ク、之ヲ惹
爾日四世ト云フ、○時ニ希臘人土耳其ニ背キテ
獨立ヲ謀リ、戰鬪年アリ、英國佛魯ト共ニ土耳其
ヲ伐テ終ニ希臘ヲ獨立セシメタリ、○一千八百

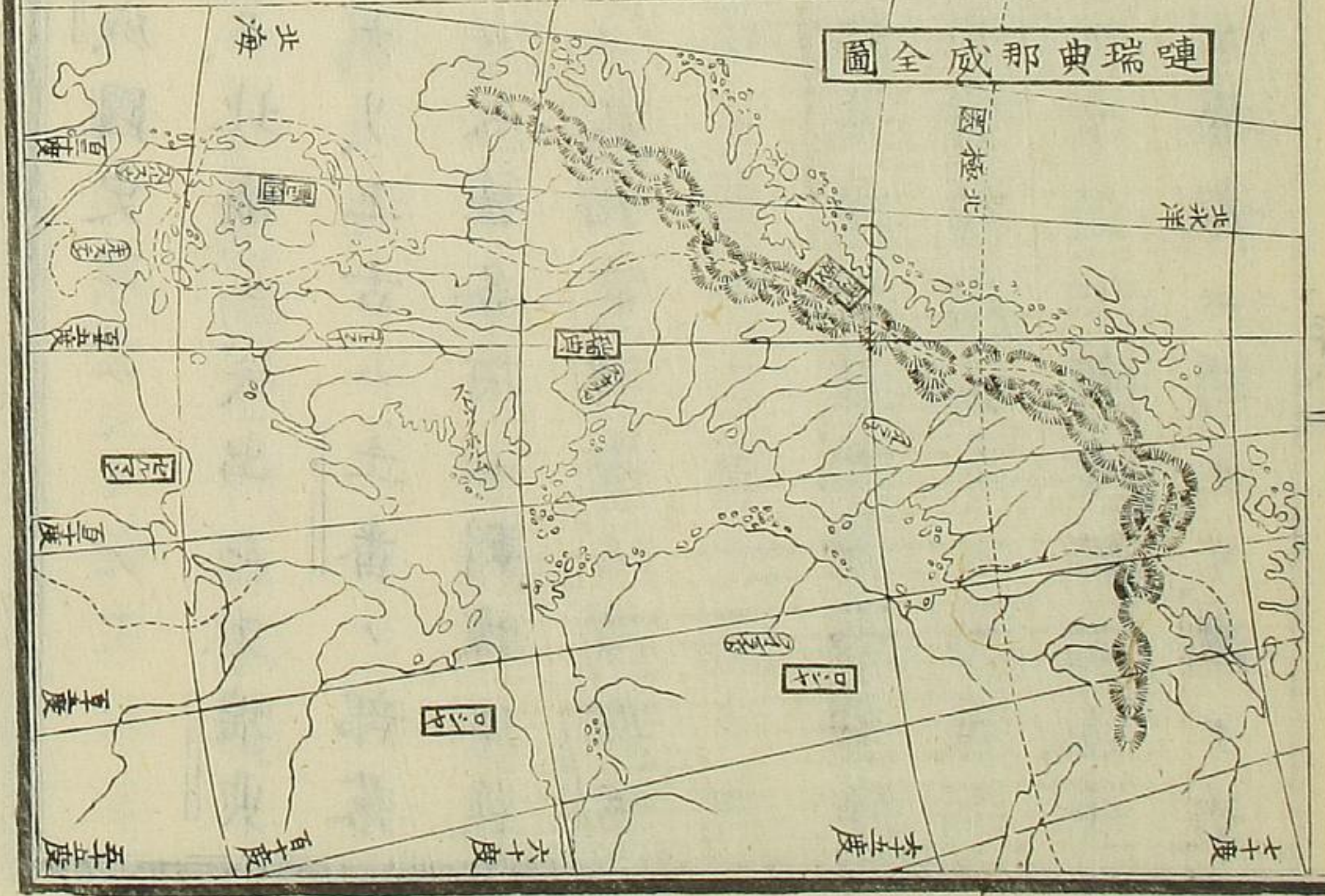
三十年王歿シ、弟維廉四世嗣ク、此年比利時國和
蘭ニ背ク、爾後英國和蘭ヲ伐テ、比利時ノ獨立ヲ
援ケリ、一千八百三十七年、王歿シテ子ナシ、從女
維多利亞ヲ立テ、王トス、是レ今代ノ女王ナリ、
同シク三十九年、英軍ノ印度ニ在ル者、亞加業坦
ヲ伐テ之ヲ征服シ、我藩衛トナセリ、其翌商人阿
片煙土ヲ帶テ支那ニ鬻ク者アリ、支那兩廣總督
林則徐盡ク煙土ヲ焚キ、仍テ兵端ヲ開キ轉戰二
年攻テ沿海ノ要害ヲ拔ク、支那終ニ和ヲ請フニ
至リ、香港ノ一嶋、全ク英ノ管轄ニ歸セリ

一千八百五十三年始テ魯西亞、土耳其ノ事アリ、
初メ魯王盡ク土ノ希臘人ヲ轄セントス、土人聽
カス、是ヨリ戦争ニ及ヒ、魯國兵ヲ進メテ土ノ北
境ヲ侵シ、將ニ其都城ヲ攻メントス、此時英國佛
朗西ト共ニ兵船ヲ黑海ニ出タシ、以テ土國ヲ防
護ス、魯亦兵ヲ各處ニ備ヘ劇戰三年、終ニ西巴士
多トノ大戰ニ於テ、大ニ魯軍ヲ破リ、和議ヲ講ス
ルニ至テ威名ヲ海内ニ轟セリ
爾來益昇平ヲ致シ、商賈盛ニシテ稅餉充テ、國家富
テ、兵勇強ク、禮教日ニ隆ニシテ治安愈、堅シト云フ

噠馬 瑞典 那爾威國史

噠馬ハ日耳曼ノ西北ヨリ、北海ニ突出シテ、瑞典
ノ南境ト相對セル小國ナリ、上古ハ土番ノ部落
ニシテ性波羅非納塞等ノ人種各所ニ割據シ、後
我特ノ據ル所ト為レリ、○紀元前百年ノ頃、瑞典
ノ酋長厄里哥ナル者諸部ヲ併セテ國ヲ立ツ、之
ヲ瑞國ノ始祖トス、此時那爾威亦酋長冷羅德ヲ
推シテ主トナス、是ヨリ三國鼎峙シ、互ニ封國ノ
形ヲ為セリ、爾來此三洲ヲ合シテ斯干的那瓦ト
總稱ス、洲民能ク海ニ航シ、操舟ニ巧ナリ、漸ク近

國ヲ侵シ、海賊ヲ事トス、爾來益進テ各州ヲ掠畧シ、或ハ民屋ヲ燒夷シ、貨財ヲ奪テ悉ク自國ニ運搬ス、其勢頗ル猖獗ニシテ歐洲沿海ノ地、概ネ其害ヲ蒙ラサルハナシ、中ニ就キ佛國ニ侵入シ、其西部ヲ掠畧シテ之ニ據リ、終ニ侯國ヲ為ス、之ヲ



諾爾曼的ト云フ、又以太利ノ南境ヲ侵シ、西々里、島ヲ畧シテ封土トス、此際ニ當リ歐洲ノ諸國、皆海盜ヲ以テ、之ヲ目シ、敢テ抗敵スル者ナシ、紀元八百年ノ頃ヨリ、噠人屢英ノ北疆ヲ侵シ、墨爾削ノ地ヲ奪テ之ニ據リ、英人ト或ハ戰鬪シ、或ハ講和ス、是ヨリ噠人多ク英地ニ住シ、互ニ婚嫁スル者アリ、○後噠王瑞尼ノ代ニ至リ、噠瑞那ノ三國ニ雄張シ、威名頗ル盛ナリ、時ニ一千二年、英王其國ニ住スル噠人ヲ屠殺スルコトアリ、瑞尼其仇ヲ報スルヲ名トシ、兵ヲ率キテ英國ニ入り、

連ニ英軍ヲ破テ、深ク内地ニ入ル、英ノ城堡多クハ其陷ル、所ト為リ、國勢甚ク危急ニ逼レリ、會瑞尼歿ス、其子加紐的代テ衆ヲ統フ、軍勢益盛ナリ、一千十六年終ニ英王ヲ殺シテ其國ヲ奪フ、加紐的既ニ英國ノ王ト為リ、兼テ連國ニ君臨シ、能ク國政ヲ修メ、賞罰嚴明ニ、緩猛并ヒ行レテ、上下安康ナリ、後又那爾威ヲ滅シ、尋テ瑞典ヲ併セ、悉ク版圖ニ歸セシム、是ニ於テ三國合シテ一ト為レリ

一千三十五年加紐的歿ス、二子位ヲ争ヒ、將ニ戰

事アラントス國人為ニ調停シ、乃チ長子洽羅德ヲ英國王トナシ、二子洽底加紐的ヲ連、瑞、那ノ王トナス、幾モナク洽羅德歿ス、連王兼テ英國ノ王位ヲ兼統ス、英人服セス、前朝ノ裔ナル義德瓦三世ヲ迎ヘテ王トシ、終ニ獨立セリ、是ニ於テ連王全ク英國ヲ失ヘリ
既ニシテ、連國王洽底加紐的其下ノ為ニ殺サレ、國勢頓ニ亂ル、此時ニ方リ那爾威ノ人民兵ヲ起シテ獨立シ、瑞典亦連國ニ叛キテ國ヲ立ツ、是ヨリ連、瑞、那又分レテ三國ト為レリ

一千三百九十七年ニ至リ、那王歿シ、其右馬里加爾達ハ、噠國王ノ女ナルヲ以テ、那爾威ヲ噠馬ニ併セ、終ニ二國ニ君臨セリ、女王英果ニシテ權畧アリ、能ク四境ヲ安撫シ、國勢ヲ皇張ス、此時瑞國ノ王ヲ阿爾麥ト云フ、殘戾ニシテ下民ヲ凌虐シ人心頗ル離畔ス、女王機ニ乘シテ、瑞民ヲ誘ヒ其國ニ叛カシム、以テ我藩屏ニ歸ス、是ニ於テ女王大ニ三國ノ代議士ヲ瑞典ノ加爾馬耳ニ會シ、相盟約シテ、聯邦トナリ、合王ニ隸セシム、噠國ハ王是ヨリ噠國日々ニ強盛シテ、威權大ニ隣邦ニ

振ヘリ○女王歿シテ、嗣子能ク其法ヲ守リ、政令公明ニシテ四境咸ク服ス、嗣テ右孫幾斯底安ニ至リ、政道公平トラズ、妄ニ瑞、那ノ人民ヲ抑壓スルヲ以テ、二國ノ民、怨畔スル者多ク、且殘忍ニシテ殺戮ヲ嗜ミ、擅ニ酋長ヲ殺セシヨリ、國民大ニ憤懣シ、終ニ斯勒瑞侯非哩特一世ヲ立テ、主トナシ、兵ヲ舉ケテ國王ニ叛ケリ、是ニ於テ國王窮シ、其右ト共ニ和蘭ニ走竄ス、此時ニ當リ、瑞典前王ノ裔ニ額士荅瓦撒ナルモ人零落シテ民間ニアリ、性素ヨリ英果不群ナリ、

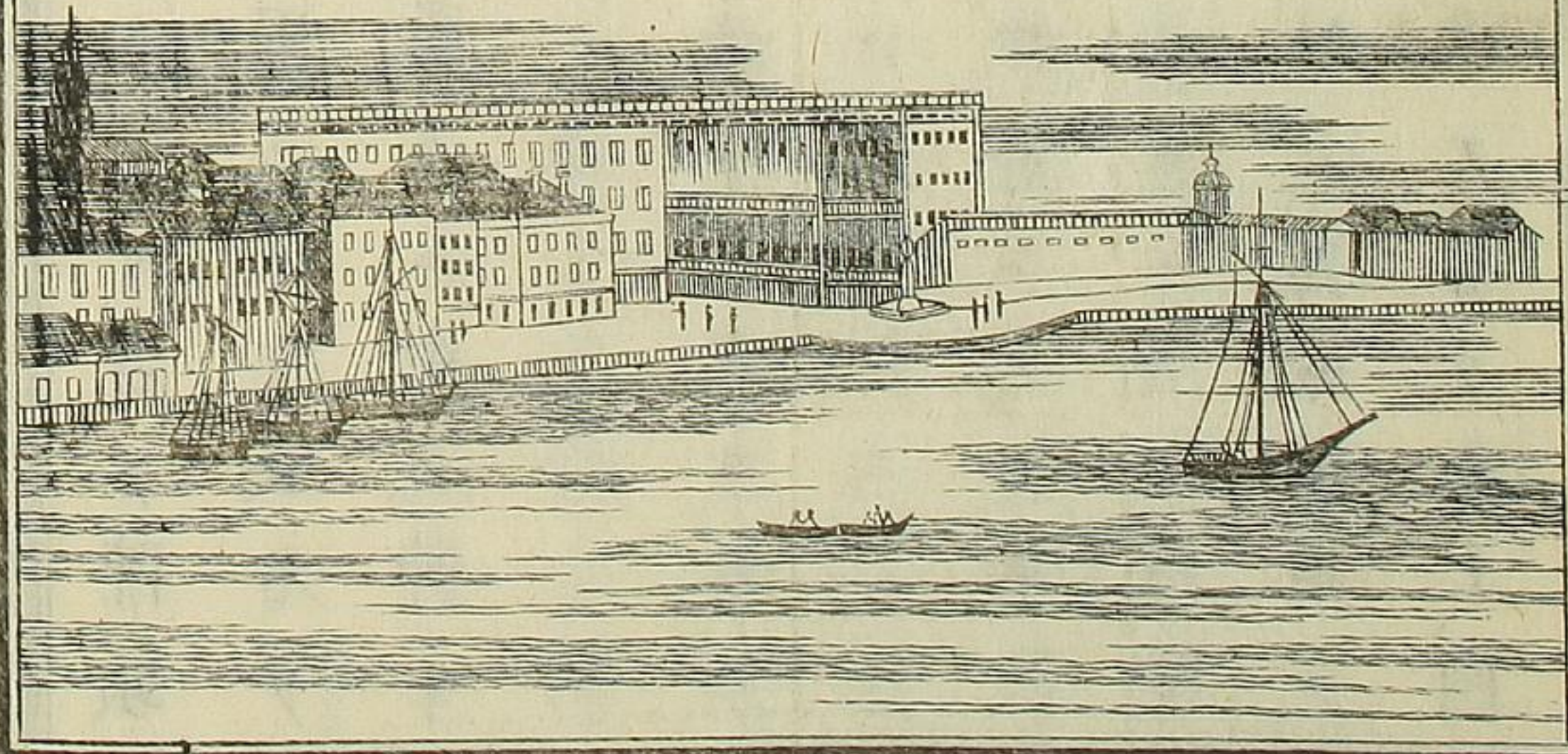
噠國ノ内亂ヲ視テ陰ニ報復ノ念ヲ懷ク、噠人執
 ヘテ之ヲ獄ニ下タス、瓦撒又逃テ故國ニ歸リ、急
 ニ土人ヲ招募シテ、兵ヲ舉ク、四方ノ之ニ應スル
 モノ甚衆ク、兵杖頓ニ盛ナリ、是ニ於テ直ニ連國
 ヲ伐テ、連ニ戰捷ヲ得テ全ク故土ヲ復シ、終ニ獨
 立シテ瑞典王トナレリ、然レトモ那爾威ハ猶連
 國ニ隸シ菲哩特一世ニ服従セリ
 爾後教法改革ノトキ、日耳曼内地悉ク擾亂スル
 ニ當リ、瑞王額士荅亞德弗親ヲ精兵ヲ率キテ日
 耳曼ニ入り、新教ノ徒ヲ助ケテ、大ニ奧國ノ軍ト

戰ヒ屢寡兵ヲ以テ、數倍ノ大敵ニ當リ、身ヲ陣頭
 ニ挺シ、死力ヲ盡クシテ、毎ニ奧軍ヲ破リ、英名ヲ
 四隣ニ轟カセリ、然レトモ終ニ飛丸ニ中テ、陣中
 ニ歿ス、是ニ於テ軍氣頓ニ沮スト雖トモ、將士猶
 兵ヲ督シテ去ラス、會英佛等ノ援兵ヲ得テ、大ニ
 奧兵ヲ破リ、終ニ和議ヲ講スルニ至レリ
 王女幾斯底安位ヲ嗣キ文事ヲ癖好シテ、兵革ヲ
 嫌忌シ、早ク位ヲ外戚查理斯十一世ニ傳フ、此際
 ニ當リ、瑞國ノ勢益盛大ニ趣キ、外ハ兵威ヲ張テ、
 疆土ヲ擴開シ、以テ連國ト相競フノ勢ヲ為シ、内

ハ製造貿易ノ業ヲ勸メ、
國內殷富ヲ致シ殊ニ首
府士篤恒ノ如キ、最モ繁
盛ヲ極メリ

查理斯十二世ニ至リ、血
氣剛壯ニシテ、戰事ニ熟
達ス、夙ニ霸業ヲ企テ、四
隣ヲ蠶食ス、此時魯國ノ
彼得帝亦疆土ヲ西方ニ
擴メント欲シ、波爾的海

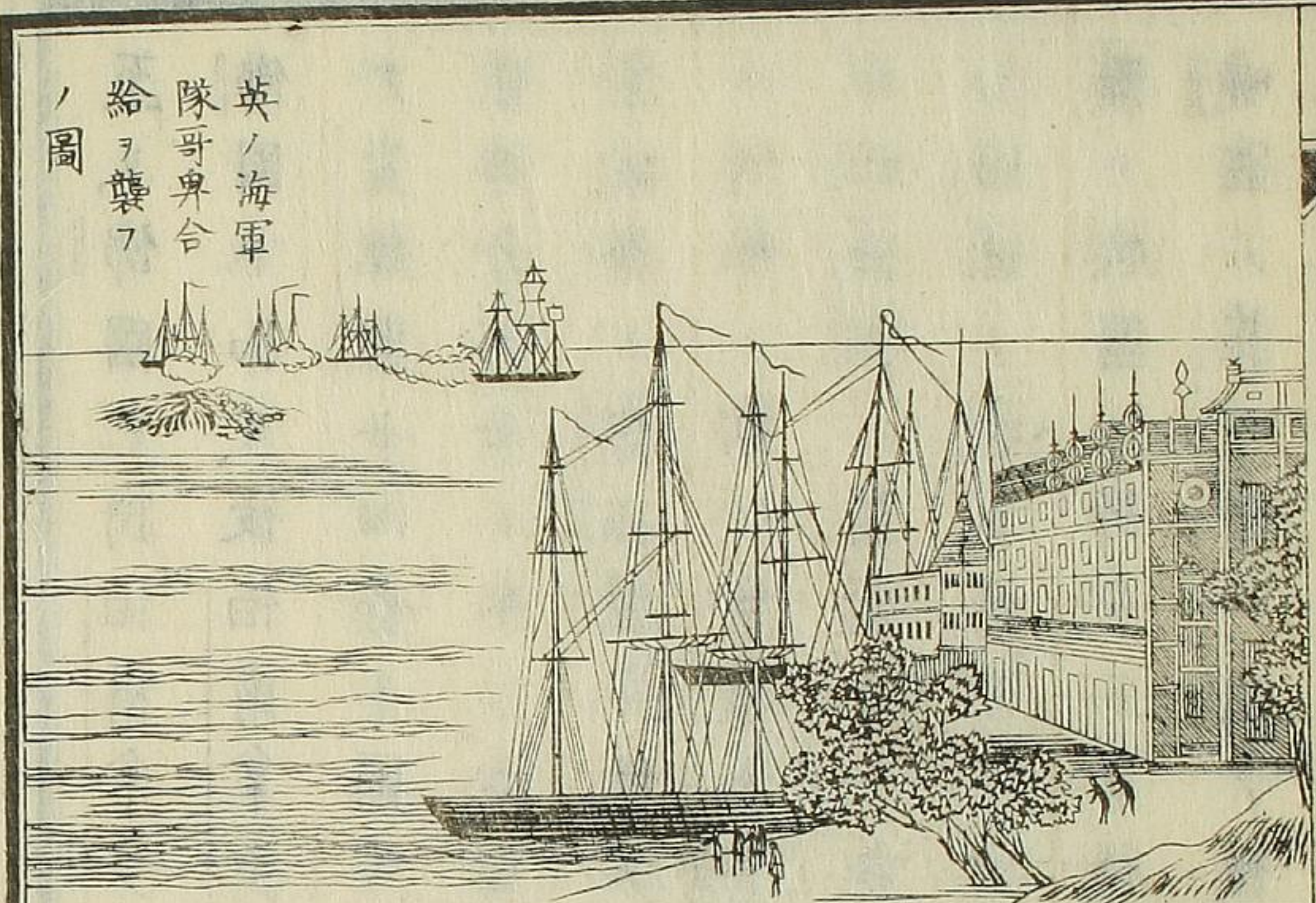
士篤恒ノ圖



ノ近傍ヲ掠畧ス、此ニ於テ、二國相疾視シ、戰鬪累
年、毎ニ魯軍ヲ破テ波蘭ノ半ヲ得ルニ至レリ、此
時魯國、波蘭、連馬ノ三國兵ヲ連ネテ來リ侵ス、瑞
王邀ヘ伐テ之ヲ破リ、威名ヲ一時ニ輝カスニ至
レリ、後再ヒ魯國ト戰フニ及ヒ、瑞王深ク魯軍ノ
中心ヲ衝カント欲シ、進テ波蘭ノ布多哇ニ至ル、
會糧餉給セス、加フルニ沍寒ニ當リ、兵馬偏ニ凍
餒ニ苦シムヲ以テ、大ニ彼得帝ノ為ニ破ラル、瑞
王力盡キテ土耳其ニ走レリ、是ニ於テ威力大ニ
減耗シ、國內又分裂シテ諸權貴ノ欸ヲ魯國ニ通

スル者アリ、魯帝ハ勢ニ乘シ大衆ヲ以テ、瑞國ニ臨ム、瑞軍邀ヘ戦テ、毎ニ利アラズ、終ニ東疆ノ芬蘭ヲ割テ、魯國ニ納レ漸ク和ヲ講ス、是ニ至テ魯國ト戦鬪スルコト二十餘年、兵禍始テ休ムト雖トモ、大ニ國力ヲ疲弊シ、又前日ノ儀勢ナシ、後五年ヲ経テ查理斯十二世復國ニ歸リ、再ヒ國勢ヲ恢復センコトヲ謀リ、兵ヲ舉ケテ那爾威ヲ伐チ、軍敗レテ陣中ニ歿ス、查理斯十三世ノ時、屢佛國拿破崙ノ攻伐ヲ蒙リ、毎ニ其撃破スル所トナレリ、世子ノ陣歿スルニ

至リ、佛國ノ將伯爾拿多的ヲ養テ子ト為シ、始テ佛國ト和ス、後伯爾拿多的ノ王位ニ即クニ及ヒ更テ查理斯十四世ト稱ス、此時ニ方リ全國ノ政令皆佛帝ノ命ヲ奉シ、恰モ佛ノ外藩タルカ如シ、拿破崙ノ魯西亞ニ敗ル、ニ及ヒ、查理斯十四世ハ列邦ノ軍ト會シテ佛國ヲ伐チ、兼テ連國ト戦セ、那爾威ヲ蠶食セリ、尋テ維也納ノ大會議ニ於テ瑞地ノ連ニ近キモノヲ、連國ニ與ヘ、那爾威全國ヲ版圖ニ歸スルヲ得タリ、連國ハ菲哩特一世ノ後、稍無事ニシテ、國民頗ル



英ノ海軍
隊哥卑合
給ヲ襲フ
ノ圖

安寧ナリ、拿破崙ノ四方ヲ雄視スルニ當リ夙ニ其攻畧ヲ蒙リ、舉國總テ佛帝ニ服従セリ。佛帝ノ英國ト戰フニ當リ常ニ連國ヲシテ兵船ヲ備へ、以テ英ニ當ラシム。英國之ヲ聞キ、一千八百一年英ノ水師ノ將涅爾森艦隊ヲ率キテ、首府哥卑合

給ヲ襲フ、連國ノ師之ト戰テ大ニ涅爾森ノ為ニ破ラシ、船艦盡ク英ニ奪掠スル所トナレリ。爾後拿破崙ノ敗ルハ及ヒ、猶佛軍ニ從事スルヲ以テ、瑞典ノ襲撃ヲ蒙リ、其屬地ナル那爾威ヲ蠶食セラル、尋テ列邦ト講和スルニ至リ、維也納ノ大會議ノ時、全ク那爾威ヲ割テ瑞典ニ附シ、唯日耳曼ノ一部ナル斯勒瑞ヲ領シ、又荷斯丁及ヒ勞英堡ノ二州ヲ併セタリ、然ルニ此斯勒瑞ハ日耳曼人多ク其境内ニ住スト、雖トモ、連人モ亦多キヲ以テ、連國ニ屬ス可キトス、然レトモ州民ノ猶連

國ニ屬スルヲ欲セス、殊ニ荷斯丁及ヒ勞英堡ハ
固ヨリ日耳曼ノ所轄タリ、近時漸ク噠國ニ屬ス
ルヲ以テ、其州民ハ噠國ノ管理ヲ受クルヲ悦ハ
ス、夙ニ獨立シテ日耳曼聯邦ノ中ニ入ランコト
ヲ希圖ス、日耳曼人其意ヲ知リ陰ニ荷斯丁勞英
堡人ヲ煽動シ、又之ヲシテ斯勒瑞人ヲ挑唆シ、噠
國ノ統治ヲ脱センコトヲ進メリ
一千八百四十八年、菲哩特七世噠國ノ王位ニ即
クニ及ヒ、荷斯丁、斯勒瑞ノ民、兵ヲ舉ケテ噠國ニ
背ク、噠王急ニ兵ヲ遣テ逆徒ヲ剪除シ、殆ント鎮

壓セントス、時ニ李國亦大兵ヲ起シ、二州ノ軍ヲ
助クルヲ以テ、逆徒ノ兵威再ヒ振フヲ得テ、連ニ
噠軍ヲ破リ進テ内地ニ入ル、噠人苦死シテ戰フ
ト雖トモ、衆寡敵セス、殆ント敗衄ニ及ハントス、
此時英佛魯等ノ諸國為ニ勸解シテ、停戰ノ議ヲ
唱ヘ李國ニ迫テ兵ヲ罷メシム、是ニ於テ噠國又
其舊土ヲ失ハサルコトヲ得タリ、然ルニ一千八
百六十四年李煥ノ二國、釁ヲ噠國ニ啓クニ及ヒ、
連戰皆其撃破スル所ト為リ、力屈シテ終ニ斯勒
瑞、荷斯丁ノ二州ヲ割テ李國ニ納レ、始テ和ヲ講

スルニ至レリ代々傳テ幸國ニ爲ルニ由リテ然レトモ菲哩特七世能ク和ヲ推シ善ヲ勸メ國政頗ル齊整シテ四民太平ヲ樂ムト云フ

萬國史卷之四終 幸國亦大共ニ強ク二國ノ軍

| | | | | | | | | | |
|-----|-----|-------|-----|-----|------|------|------|------|------|
| 爾士 | 德 | 威 | 威爾里 | 格伯 | 羅 | 里 | 羅馬 | 瑟爾 | 英吉利國 |
| 阿爾蘭 | 維廉 | 瑞典 | 以徳門 | 噠國 | 薩克索 | 亞及哥拉 | 愷撒 | 亞細亞 | 蘇格蘭 |
| 力查 | 亞梯令 | 洽羅德 | 加紐的 | 亞弗勒 | 安宛各羅 | 比利敦 | 英倫 | 查我特 | 蘇格蘭 |
| 猶太 | 羅伯 | 洽的加紐的 | 噠國 | 義德瓦 | 薩薩 | 倫敦 | 革老丟斯 | 弄丟度尼 | 蘇格蘭 |
| 回徒 | 顯理 | 諾曼 | 噠馬 | 蘇格蘭 | 厄塞 | 日耳曼 | 蘇格蘭 | 蘇格蘭 | 蘇格蘭 |
| 女教 | 士提反 | 哈羅 | 諾 | 蘇格蘭 | 以 | 安各 | 威爾 | 威爾 | 威爾 |
| 非 | 威 | 羅 | 諾 | 威 | 以 | 各 | 爾 | 爾 | 爾 |

萬國史卷之四

字引

萬國史略卷四

| | | | | |
|----|------|--------|------|-------|
| 立 | 約翰 | 馬格那查達 | 義德瓦的 | 以薩伯拉 |
| 邀 | 的麥 | 瓦羅義斯非立 | 巴黎 | 加雷波爾 |
| 多 | 諾 | 塞那 | 查爾斯 | 格拉林斯格 |
| 里 | 方 | 羅來 | 荷爾良 | 如安達克 |
| 度 | 亞米利加 | 瓦威 | 然格來 | 馬利 |
| 伯 | 馬利 | 阿爾 | 和蘭國 | 西班牙 |
| 邀 | 利顛 | 阿塞福 | 查理斯 | 格朗 |
| 空 | 藍伯 | 阿蘭 | 安 | 哈諾威 |
| 羅 | 林 | 瓦爾波 | 查理斯 | 義德瓦 |
| 華 | 盛頓 | 維廉彪 | 拿破崙 | 約爾森 |
| 約瑟 | | | | |

| | | | | | |
|---|-----|-----|------|------|------|
| 空 | 林登 | 維也納 | 比利時 | 窩德路 | 三厄里 |
| 那 | 希臘 | 土耳其 | 維多利亞 | 亞加業坦 | 支 |
| 那 | 香港 | 魯西亞 | 西巴士多 | | |
| 噠 | 國 | 瑞典 | 那爾威 | 國 | |
| 性 | 波羅 | 非納塞 | 我特 | 厄里哥 | 洽羅德 |
| 干 | 的 | 那瓦 | 那爾曼 | 的 | 以太利 |
| 削 | 瑞尼 | 加紐 | 的 | 洽底 | 加紐 |
| 里 | 加爾達 | 阿爾麥 | 加爾馬 | 耳 | 幾斯底安 |
| 勒 | 瑞 | 菲哩特 | 額士 | 答瓦撒 | 額士 |
| 查 | 理斯 | 士篤恒 | 彼得 | 波爾 | 的 |
| | | | | 波蘭 | 布多 |

字引 二

